

中道改革連合 常任幹事会 次第(第5回)

1. 代表挨拶

2. 報告・承認事項

- <幹事長兼選挙対策委員長> …P.1
- 前衆議院議員の離党について
 - 党所属議員の海外派遣について
 - 京都府知事選挙の結果について
 - 中道改革連合・立憲民主党・公明党幹事長・国会対策委員長会談(3幹3国)の報告について
 - 統一地方選挙等における選挙協力に関する基本合意について

 - 中道改革連合の政治資金調達のある方(案)について
 - 党員制度・地方組織検討委員会第1次報告(案)について
 - 衆議院惜敗者についての考え方(案)について
 - 2026年国会議員総支部への支部政党交付金等の交付について(案)について
 - 衆院選検証・総括素案の進捗状況について

- <政務調査会長> …P.15
- 三党合同政調審議会の報告について
 - 立憲民主党・公明党提出・令和8年度予算修正案及び国民民主党提出・令和8年度予算修正案について

- <国会対策委員長>
- 国会対応等について

<組織委員長兼役員室長>

- <企業・団体交流委員長> …P.19
- 議員懇話会の設立について

<広報委員長>

<裏面に続く>

3. その他

…P. 24

- 全議員を対象とした会議体の開催について

※ 次回常任幹事会の開催日程(調整中)
4月28日(火)17:00 @衆4控

2026/04/07
中道改革連合執行役員会

前衆議院議員の離党について

離党者	解散する総支部	期数
藤岡 隆雄	栃木県第4区総支部	2期
藤原 規眞	愛知県第10区総支部	1期

党所属議員の海外派遣について

中道改革連合は、ペドロ・サンチェス・スペイン首相からの招待を受け、国際的な進歩派・民主派・中道左派勢力が結集する「グローバル・プログレッシブ・モビライゼーション（GPM）」に参加するため、小川淳也代表をスペイン・バルセロナに下記のとおり派遣する。

GPM は、権威主義的・国家主義的な圧力が強まる中、民主主義、社会正義、国際協力を守るため、世界の進歩・民主・中道勢力が連携し、共通の課題について議論し、協調的な行動を模索する国際会議である。第1回会合は2026年4月17日及び18日にスペイン・バルセロナにおいて開催される。

第1回会議にはスペイン首相やブラジル大統領、南アフリカ大統領ら世界各国の国家元首や政治指導者、市民社会指導者、学識者が参加する。本会合は、進歩同盟、欧州社会党、社会主義インターナショナル、アメリカ進歩センター等が連携し設立した枠組みの下で開催されるものである。

記

■派遣先：スペイン・バルセロナ

■期 間：2026年4月16日（木）～4月19日（日）

■目 的：

本訪問は、国際的な進歩・民主・中道勢力が結集する GPM への参加を通じて、民主主義、社会正義、国際協調といった共通の価値を共有する各国指導者との対話を深め、国際的なネットワークの構築と連携の強化を図ることを主たる目的とする。

とりわけ、ペドロ・サンチェス首相をはじめ、進歩勢力の指導者との意見交換を通じて、分断が進む国際社会における協調的対応の方向性を共有し、将来に向けた協力関係の基盤を築く。

あわせて、本会議への参加を通じて、日本における多様な民意を国際社会に共有し、国際協調を重視する日本の中道勢力としての立場を明確にする。これにより、我が党の国際的な存在感を高め、外交的基盤の強化につなげる。

■派遣者：小川淳也 代表

※なお、本派遣は党外交の一環として実施するものであり、渡航費等については派遣者本人が負担する。

〈選挙対策委員長〉

(報告・承認事項)

1. 京都府知事選挙の結果について

告示日：3月19日 投票日：4月5日

京都府（定数1－候補3）

候補者氏名	所属	現元新	年齢	得票数	
当選 西脇 隆俊	無所属	現	70	412,583 票	推薦：自・中・国・立・公
浜田 聡	日本自由党	新	48	181,998 票	
藤井 伸生	無所属	新	69	149,330 票	推薦：共

2027年統一地方選挙等における 選挙協力に関する基本合意

中道改革連合（以下、中道）、立憲民主党（以下、立憲）、公明党（以下、公明）の三党は、日本政治に中道勢力の拡大が必要であるとの考えに立ち、来年4月の統一地方選挙において、三党の勢力の最大化を共通目標に掲げ、選挙協力を推進するため、以下の基本方針について合意する。

基本方針

1. 2027年の統一地方選挙の対応について

- 立憲、公明はそれぞれ候補者を擁立し選挙戦を戦う。中道は立憲、公明等の候補者の「当選」を目指し、全力で支援する。1つでも多く現有以上の議席を獲得できるよう最大化を図っていく。
- 選挙協力は、相互に行うことを旨とし、都道府県ごとに調整を図る。なお、調整が困難な場合は、各党本部において対処する。

2. 都道府県における協議の場の設置について

- 立憲、公明を主体とした都道府県における協議の場を設置する。メンバーとしては、立憲、公明の選挙対策責任者等とする。
- 都道府県における協議の場は必要に応じて、当該都道府県内の地域において「連絡協議会」を開催し、選挙協力の実質的な協議等を行う。
- 協議においては中道の小選挙区総支部長と連携し、地域事情を考慮しつつ当該選挙区をエリアとする中道の小選挙区総支部長をまじえた協議を行う。

3. 協議内容について

- 協議事項についての詳細は別紙とする。

4. 統一外の地方選挙等の対応について

- 上記の方針に沿って、統一外の地方選挙および首長選等についても協議を行っていく。

2026年 4月 7日

中道改革連合 幹事長

立憲民主党 幹事長

公明党 幹事長

※参考

都道府県単位における協議の主な内容

1、擁立について

○擁立計画の共有

- ・両党の現職がいる選挙区の状況
- ・片方の党が空白の選挙区
- ・両党の空白区の擁立状況
- ・現職+ α の擁立を検討している選挙区

○擁立の考え方の確認

- ・公認・推薦等の党内手続きは、各党で手続きを推進する。
- ・現職及び現職後継候補は両党互いに擁立することを原則とする。
- ・1つでも多く現有以上の議席を獲得できるよう積極的な擁立を図る。
- ・地域事情を考慮しつつ、当該選挙区をエリアとする小選挙区の中道の小選挙区総支部長（現職、惜敗者）をまじえた協議を行う。

2、選挙の協力について

①公明は公明、立憲は立憲の候補者を支援する

②中道からの推薦については、まず候補者の意向を踏まえるとともに、中道の基本政策への理解に加え、三党が結ぶ「統一選の共通政策」に対する合意を確認する。

※中道本部作成の推薦依頼書（フォーム）の中に、合意についての確認欄を設ける

③中道の現職および惜敗総支部長は、中道が推薦する両党の候補者を中心に応援し、且つ、最大化の観点に立ち、出身政党の候補者を最大限応援する。

④両党いずれかのいわゆる空白区については、具体的な協力が可能か否か確認し、可能な場合は具体的な内容の検討を進める（※支援団体との連携を図る）

2026年 第8回 三党合同政調審議会 報告

4月2日（木）17：00より開催し、下記の通り、審議・決定した。

法案審査

○旅券法の一部を改正する法律案

→以上1法案について、賛成することに決した。

○農林中央金庫法の一部を改正する法律案

○農業近代化資金融通法の一部を改正する法律案

→以上2法案について、賛成する方向で、三党政務調査会長に一任することに決した。

承認案件

○「給付付き税額控除」に関する検討PTの体制変更について

→以上1件について、原案通り、承認した。

報告事項

○国対報告について

→衆議院及び参議院の国対より、それぞれ報告を受けた。

○中道・立憲・公明 政務調査会 役員・部会長一覧（更新版）

→以上1件について、報告を受けた。

○参議院における令和8年度予算修正案について経過報告

→以上1件について、報告を受けた。

以 上

令和8年度予算に対する修正案（概要）

— 「命」と「暮らし」を守り抜くための緊急提案 —

2026(令和8)年4月6日

立憲民主党・公明党

現在、イラン情勢の緊迫化を受けて、原油高・物価高が加速し、国民生活が脅かされている。先行きは依然として不透明であるが、政府としては、不測の事態に備えるべく、万全の体制を早急に構築するのが責務である。

しかしながら、政府提出の令和8年度予算は、昨年12月末に閣議決定されたものであり、今般のイラン情勢緊迫化による国民生活への影響は考慮されていない。予備費を含む既存予算では到底不十分であり、また、補正予算の編成には更なる時間を要する。したがって、我々は、国民の「命」と「暮らし」を守り抜くため、令和8年度予算に対する緊急の修正提案を行うものである。

「暮らし」を守る 一原油高・物価高対策

- **ガソリン・軽油・灯油・重油・航空機燃料の価格引き下げ：1兆8,000億円**
 - … ガソリン価格を抑制する補助金の仕組みを活用
事態の長期化に備え、当面必要となる財源を措置し、「暮らし」の安心を確保
(補助額30円/ℓの場合、半年間は補助金を維持できる規模)
農業者・漁業者等の置かれた厳しい状況にも適切に対応
- **電気・ガス料金の引き下げ：1兆5,000億円**
 - … 現行の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」(~3月分)について、
補助額を1.5倍に拡充するとともに、半年間延長
(4人世帯で電気料金約▲4,000円/月、ガス料金約▲2,000円/月)
- **低所得者世帯向け給付金：5,000億円**
 - … 今般の基礎控除等の引き上げによる恩恵が及び難く、
物価高の影響を大きく受ける低所得者に対して迅速に給付
(住民税非課税世帯1世帯あたり3万円、うち子育て世帯は子ども1人当たり2万円を加算)
- **「防衛増税」の凍結：▲380億円（復興財源の確保：380億円）**
 - … 増税で確保することを予定していた防衛財源1兆円強は、
法人税・たばこ税の増税により既に確保の見通しが立っていることから、
防衛特別所得税の創設(2027年1月~)を凍結
復興特別所得税を現行の水準で維持し、復興財源を確実に確保

「命」を守る ー必要な医療の確保

- 高額療養費制度の自己負担限度額引き上げ凍結：300億円
- OTC類似薬に関する患者追加負担(「特別の料金」)の慎重な検討
 - … 原油高・物価高による更なる負担増が想定される中で、必要な受診が抑制され、「命」が脅かされることのないように、患者の負担増に繋がる措置については凍結、あるいは慎重に検討

- ナフサの供給減・価格高騰を受けた医療機関支援：500億円
 - … ナフサの供給減・価格高騰により、注射器、点滴・輸液用のバッグ、各種チューブ、カテーテルなど、医療現場で欠かせない器材が高騰し、「命」を守る医療機関の経営が圧迫される恐れがあることに鑑み、医療機関に対して器材購入費の補助を実施

[財源確保について]

「3年ルール」を超えて措置されている「積み過ぎ」基金の一部を国庫返納させることにより、特例公債を増発することなく、「命」と「暮らし」を守る施策の財源を確保

令和8年度予算に対する修正案 フレーム

歳出	歳入
<p>〔歳出の増〕</p> <p>「暮らし」を守る ー原油高・物価高対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ガソリン・軽油・灯油・重油・航空機燃料の価格引き下げ 1兆8,000億円 ○ 電気・ガス料金の引き下げ 1兆5,000億円 ○ 低所得者世帯向け給付金 5,000億円 <p>「命」を守る ー必要な医療の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高額療養費制度の自己負担限度額引き上げ凍結 300億円 ○ OTC類似薬に関する患者追加負担(「特別の料金」)の慎重な検討 ー ○ ナフサの供給減・価格高騰を受けた医療機関支援 500億円 <p style="text-align: right;">計：3兆8,800億円</p>	<p>〔歳入の増〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「積み過ぎ」基金の国庫返納 3兆9,180億円 (○ 復興財源の確保 380億円) <li style="padding-left: 20px;">※東日本大震災復興特別会計に計上 <p>〔歳入の減〕</p> <p>「暮らし」を守る ー原油高・物価高対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「防衛増税」の凍結 ▲380億円 <p style="text-align: right;">計：3兆8,800億円</p>

令和 8 年度一般会計予算修正案

中東情勢の悪化で高騰するエネルギー対策強化のために、以下のとおり、一般会計予算の修正を求める。

【対策内容】

○ガソリン、軽油等補助・・・約3,000億円/月(見込)

○電気・ガス代補助・・・・・・・・約2,000億円/月(見込)

<合計>5,000億円/月×6ヶ月=約3兆円

⇒補助期間は、6ヶ月間(4~9月)とする。

【財源】

○基金残高約2,800億円に、予備費約8,000億円を積み増し
(3月24日閣議決定)

○予算修正2兆円(特例公債金)

中道改革連合 議員懇話会の設立について

令和8年4月13日

以下の団体につき、議員懇話会の設立をいたします。

ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

No	対象団体	懇話会名称 (案)	発起人
1	日本行政書士会連合会 日本行政書士政治連盟	中道改革連合 (仮称) 行政書士議員懇話会	赤羽一嘉 落合貴之
2	全国社会保険労務士連合会 全国社会保険労務士政治連盟	中道改革連合 (仮称) 社会保険労務士議員懇話会	田嶋 要 濱地雅一
3	日本土地家屋調査士会連合会 全国土地家屋調査士政治連盟	中道改革連合 (仮称) 土地家屋調査士議員懇話会	濱地雅一 神谷 裕
4	日本製薬団体連合会	中道改革連合 (仮称) 我が国の創薬力を強化・推進する議員懇話会	大島 敦 早稲田ゆき 濱地雅一 沼崎満子

常任幹事会で決定後、発起人事務所より、会員募集の案内をさせていただきます。

以上

令和8年4月13日

議員各位

中道改革連合(仮称)行政書士議員懇話会 設立趣意書

複雑化・多様化する現代社会において、行政手続きの円滑化と国民の利便性向上は、民主的な行政運営を貫徹する上で不可欠な要素である。特に、許認可、遺言・相続、法人設立などの専門家である行政書士は、「身近な街の法律家」として、国民と行政を繋ぐ架け橋であり、地域経済の活性化と権利利益の保護に多大な貢献を果たしている。

我々「中道改革連合」は、生活者主権の改革を掲げる立場から、行政書士制度の充実・発展を図り、国民がより迅速・的確に行政サービスを楽しむ環境を整備する必要があると考える。

よって、ここに行政書士の業務実態や課題を深く理解し、行政手続きのデジタル化対応や関連法案の検討、政策提言を行う場として、党内に「(仮称)行政書士議員懇話会」を設立するものである。

発起人：赤羽 一嘉

発起人：落合 貴之

令和8年4月13日

議員各位

中道改革連合（仮称）社会保険労務士議員懇話会 設立趣意書

社会保険労務士は、複雑化する社会保障制度の円滑な運営を支える唯一の国家資格者として、行政・企業・労働者を結ぶ不可欠な役割を担っています。誰もが最大限に能力を発揮できる職場づくりを通じて、企業の持続的な成長を支援し、豊かで安定した経済社会の基盤を支える重要な社会的責任を果たしています。

時代の変化に即した労働社会のインフラを構築し、誰もが安心して働き、暮らせる「持続可能な社会保障制度」を実現していくため、我々「中道改革連合」は、生活者主権の改革を掲げる立場から、社会保険労務士制度の充実・発展を図り、国民がより安心・安全に法的サービスを楽しむ環境を整備する必要があります。

よって、ここに社会保険労務士の業務実態や課題を深く理解し、関連法案の検討や政策提言を行う場として、党内に「(仮称)社会保険労務士議員懇話会」を設立するものである。

発起人：田嶋 要

発起人：濱地 雅一

令和 8 年 4 月 13 日

議員各位

中道改革連合（仮称）土地家屋調査士議員懇話会 設立趣意書

土地家屋調査士は、不動産の状況を正確に登記記録に反映することによって不動産取引の安全の確保、国民の財産を明確にするとともに、裁判外境界紛争解決手続きを主宰し、相隣関係の安定に努めるなど社会に多大な貢献を果たしている。

我々「中道改革連合」は、こうした公共性の高い業務を担う土地家屋調査士について、その業務実態や課題を深く理解し関連法案の検討や政策提言を行う場として、党内に「(仮称)土地家屋調査士議員懇話会」を設立するものである。

発起人：濱地 雅一

発起人：神谷 裕

令和 8 年 4 月 1 3 日

議員各位

中道改革連合

(仮称)「我が国の創薬力を強化・推進する議員懇話会」設立趣意書

医薬品産業は、いうまでもなく国民の命と健康を守る礎であると同時に、我が国の成長戦略をけん引する柱である。世界各国では、創薬支援を国家戦略として位置付け、資源・人材を集中させ、大きな成長産業へと変革を遂げている。

一方で、我が国の医薬品産業は、優れた基礎研究や高い医療水準、優秀な人材に支えられているものの、それを支える制度や資金をはじめ有用な資源の連携が切れ目なく実施できないことによって、その潜在力が十分に発揮されているとは言い難い現状にあり、ドラッグラグ・ドラッグロスの拡大の懸念が顕在化している。

そこで、我々「中道改革連合」は、真に国民の命と健康を守り、「創薬大国・日本」を実現するべく、医薬品産業の課題を深く理解し、創薬イノベーションを推進するため、関連法案の検討や政策提言を行う場として、党内に「(仮称)我が国の創薬力を強化・推進する議員懇話会」を設立するものである。

発起人：大島敦

発起人：早稲田ゆき

発起人：濱地雅一

発起人：沼崎満子

全議員を対象とした会議体の開催について（案）

1. 名称は、「議員懇談会」とする。
2. 常任幹事会がある週の木曜 12 時 10 分開始、12 時 40 分までには終了。
場所は第 4 控室。
3. 常任幹事会での決定事項、党の今後の方針などを円滑に情報共有するとともに、闊達な意見交換を行うことを目的とする。議員総会と異なり、党則に基づく会議ではなく、機関決定を行うものではない。
4. 会議はクローズで、参加は議員本人のみ（秘書の代理出席不可）。党職員は陪席。
5. 司会は幹事長代行、式次第は
 - ・常任幹事会報告など（幹事長）
 - ・報告事項がある場合は、選対委員長、国対委員長、政調会長から
 - ・質疑応答
 - ・代表挨拶

以上